

①情報連携の取組み（EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み）について

| | 三重西濃 | 東京西濃 | 西濃通運 | 昭和冷蔵 | エコアライアンス |
|-------------------|--|--|---|---|---|
| 現状 (状況及び、課題) | <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> メール・電話以外の情報伝達ツールとしてslackを導入 <p>「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> メールにて案内を行う場合、3メガ程のデータ量に抑える必要あり 動画データ等の案内が必要なケースが出てきた（提供情報量の増加） データ便、データ圧縮ツールもあるが取扱いに経験が必要 | <p>【IT推進の取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社員の評価をEXCELで行っている（ファイルの配布、回収、分析に手間がかかっている） ②ハンディスキャナー、アクセスポイントの環境がない倉庫で棚卸を紙で行っている（集計時のミスの可能性有） <p>【UI/UXの取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ③お客様向けの物流不動産用物件検索に外部サイトを利用している（他社物件と混在しており当社の物件に特化したアピールが出来ない、サイトのデザイン変更が困難） | <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸切配車表が紙ベースであり、乗務員への連絡は、都度電話で連絡をしていた。また、業務課と運行課が毎日共有していた台帳も同じエクセルファイルを使用していたため、片方の課が使用していると、使えない状況であった | <p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> EDI化（目標）95%以上 実績94.07% ※5月伝票データ実績件数より <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 月100件を超える荷主のEDI化が出来ていない <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンディターミナル（HT）を使用している出入庫作業の実施（課題） HTへの手入力項目が多いことで誤入力の修正に時間を要している | <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状のクラウド上での作業が重複しデータ更新に課題 |
| 新たな取組み (課題解決策) | <ul style="list-style-type: none"> 本社所属者、及び各店店所長、各店管理職のPCへslackを導入（6/2から順次導入開始） 本社内の情報共有と職員間の連絡ツールとして利用開始 本社⇄各店店所長・管理職、全店プランナー間、店所長間などで利用を開始 <p>(利点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付資料のデータが1Gまで送信可能 連絡に対し、既読としてチェックをルール化することで、連絡事項が確認されたか視覚化できる メール・LINEと違い誤送信しても記載内容の変更・抹消が可能（訂正した履歴は残る） 社外にいる場合でも、スマホ連携で通知が可能な為、連絡が簡単に行える <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社外への連絡にはメール対応が必要 メール・電話・LINE・slackと通信手段が増える為管理が煩雑になる（連絡方法のルール化が必要） slackのアカウント作成にメールアドレスが必要な為、チームに参加するために個人メールアドレスが必要 目的ごとにチーム化することで、情報共有と連絡が簡潔に行えるが、複数チームに所属する場合は、情報の取扱いに注意が必要（誤送信など） 履歴が3ヶ月、又は1万件で順次削除される（重要な情報は別にバックアップを行う事で対応可） | <ol style="list-style-type: none"> ①評価用の自社システムをwebで開発中。後期より運用開始予定（ファイル配布、データ集計の手間が無くなる） ②スマホとBluetoothで接続した簡易的なハンディスキャナを使用し、クラウド環境を使用し棚卸を行った（アクセスポイント、サーバー設置不要、棚卸の精度向上） ③自社用の物件紹介サイトを開発中（UIを意識し独自性の強いサイトを開発） | <ul style="list-style-type: none"> googleスプレッドシートを活用貸切配車表と共有台帳をスプレッドシートに変え、乗務員を含む関係者にオープンにする | <p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月間100件を超えている荷主2社へのEDI化を推進する渉外を開始 <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故に繋がる可能性が高い誤入力の項目を社内検討した結果、「賞味期限日」との結論に至った→この解決策としてHTへの入力方法を手入力からOCR読み取りに仕様変更（機種変更の実施） | <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同時作業が可能なクラウドの導入→同時作業が可能で手待ち時間の削減により作業効率の向上 <p>【情報連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車販売グループとの情報の交換→それぞれの顧客のもとへ同行し課題の抽出、提案を行う |
| 効果・実績について | <ul style="list-style-type: none"> 情報提示に対する既読が視覚化されたため、情報の伝達スピードがアップ チーム化することで、セクションごとの情報の共有が簡素化される | <ol style="list-style-type: none"> ①現在は一人一人にメールで配布しており、数時間要しているが、配布時間はほぼ0になる。集計時間も0になり集計ミスが無くなる ②棚卸に要していた時間が50~70%削減し誤検品防止効果も出ている。ハードへの初期投資を抑えて導入 ③操作が直感的でまた使いたいと思えるサイトを構築し、売り上げ増を狙う | <ul style="list-style-type: none"> 貸切配車については、乗務員への電話連絡をする回数が減り、配車担当者の負担が大きく減った。また乗務員も会社と連絡せずとも、自分の配車がいつでも、どこにいても分かるようになった。共有台帳については、各課同時に作業ができるようになり、作業効率が上がった | <p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1社は本年度内にEDI化への切替えに合意に至った（システム開発中） 残る1社は渉外を継続中 <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> OCR運用開始に向けシステム開発中 ※9月より本稼働開始予定 | <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定事項報告にて7/10より運用 <p>【情報連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度より4社紹介→定期的に同行営業を進め受託に繋げる |
| ポイント | <ul style="list-style-type: none"> 情報の伝達時にどのツールを利用するかルール決めを行う「当社の場合は、社外・店所担当者はメールで行う様に取り決め」 案内された情報にはチェックで反応することを共有化する | <ul style="list-style-type: none"> ①②③とも社内のIT部門で開発しているため、他の案件との絡みでリリースが遅れないように注意する | <ul style="list-style-type: none"> スプレッドシートは、スマホがあれば、使用できるため、乗務員への展開ができる。また、複数人同時に使用でき、リアルタイムで保存されるため、共有でファイルを使用する場合は効果的 | <p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様にもメリットがあることをご理解いただける様に渉外を行う <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の現場使用者から課題等を洗い出しその改善に効果が大きいものから進める | <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複作業によるデータの上書きによって発生する更新ミスをなくす <p>【情報連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車販売グループとのお客様の相互紹介 |